

第5章
子ども・子育て支援に関する
自由意見

1 就学前児童の保護者の自由意見

下図は自由意見の「どんな言葉が多く出てきていて、どの言葉とどの言葉が一緒に使われていたのか」を表した共起ネットワーク図で、強い共起関係ほど太い線、出現数の多い語ほど大きい円となっています。

（２）教育・保育環境の充実についての自由意見

教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関する自由意見の中から、出現数が多い語彙を抽出し、分類しました。（抜粋した自由意見は、誤字と思われる箇所も原文のまま掲載しています。）

■抽出語件数

抽出語	医療費	保育園	子育て	施設	仕事
件数	138	132	118	109	81

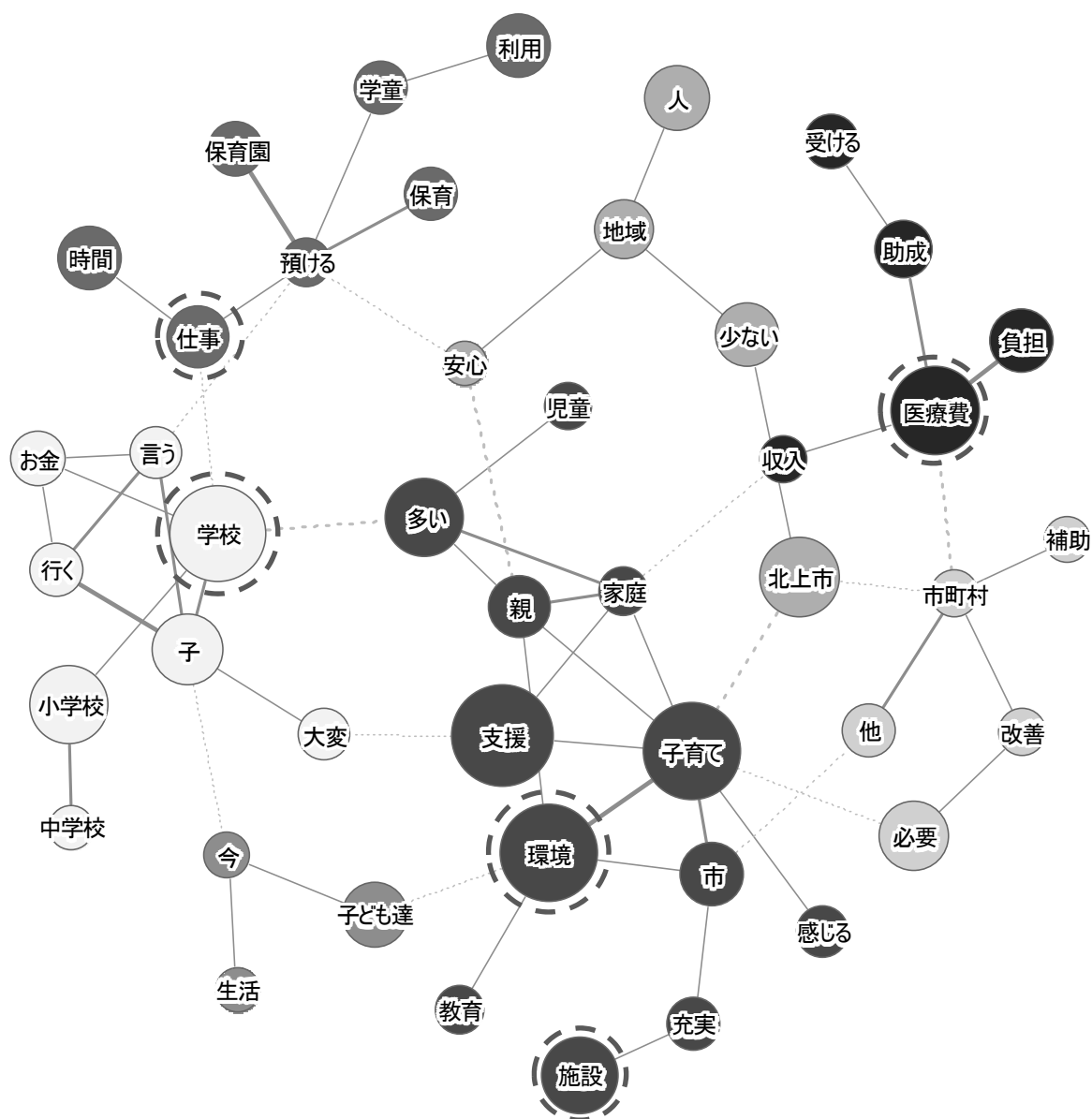
■就学前児童の保護者の自由意見

抽出語	件数	自由意見（抜粋）
医療費	138	妊産婦医療費、子ども医療費の助成が所得制限のため受けられませんでした。養育医療費もそれなりに支払の負担がありました。所得制限が他の市町村より厳しいような気がします。どんな家庭でもどんな子どもでも育てていける安心できる環境になると心強いです。
		医療費について親の所得に関係なく無料にしてほしいです。鼻風邪をよくひくので吸引につれていきたいが、その都度連れて行ったら出費が多いので行けない。
		医療費助成が年収で決まるがギリギリの年収の人は損。見直しをしてほしい。決して給料高くないのに妊産婦医療費の助成を受けられなかった。制度の意味あるのか疑問。
		予防接種（インフルエンザワクチン）の医療費軽減。
		子どもの医療費負担が多児世帯は負担なしでないと1人1人に負担額がかかる為毎月高額になる。多児世帯だが保育料が5万以上と高額である。
保育園	132	北上市といういい意味で田舎のこの町で保育園に全ておちたのがショックです。検診でも「保育園に入りたい希望はありますか？」ときかれましたが、父母ともに就労していても保育園に入れない現状がどこまで伝わっているのか疑問です。
		保育園の先生方は一所懸命子ども達をみてくれています。今後、保育料が無料になってしまったら申し分けないので、保育料はこれまで通り払いたいです。先生方の努力、熱意をムダにしないためにもモチベーションupし、がんばれるように保育士さんたちの待遇をもっともっと良くして頂きたいです。
		保育園行事について、真夏に何度も外を歩かせるのはあまり好ましくない。幸い何も事故なく過ごしているが、今後は分からない。プールに入る時も最近の暑さを考え都会のようにラッシュガード着用を所望する。
		未満児を預けられる保育園を増やしてほしい。
		保育園、幼稚園ガイドがあると「保活」の負担が減って良いと思います。それが先輩ママさんと交流できる場があるとうれしいです。
子育て	118	市運営の子育ての不安や病気の時に気軽（匿名可）に相談できる電話相談機関やアプリサービスがあればいいと思う。ネット社会だが、情報がありすぎてどれが本当か分からない。又相談時の相談員さんの対応も大切だと思う。一人目の子育ては特に親も初めてのことばかり。親に知識がないことを前提に対応してもらいたい。

		核家族が進み子育ての悩みが打ち明けられずかえこむ時代となりました。今後多様化の社会が進み子どもを産まないという選択もありえると思います。子どもは産み育ててあたりまえという社会から、子どもを産み育てる事は未来にとって大切なことという社会になってほしいと願っています。
		子どものためのPTA活動のはずなのに子どもや家庭を犠牲にして行うのは疑問。色々な家庭があり、負担だと言う話しは身近に聞くのに改善はしない。子育ての負担になっている。そもそも任意加入では？
		もっと子育てしやすい北上市にしてほしい。
		母親学級が多いが父親学級と言うのが少ないと思う。母親が情報豊富、父親が情報欠乏なので子育てに格差が出てきてしまう。
施設	109	休日に親子で利用できる施設の拡充。(公園、屋内施設、屋内プール等)
		子どもが体を動かして遊べる施設(市民プールなど)が増えると大人だけでなく子どももストレス発散の場になり、少しでも良い環境で過ごして生活できると思います。
		私用などで一時的に幼児を預けられる施設。(有料可)
		支援センターは平日未就学児しか利用できないので、土日も遊べる施設がほしい。無料か低料金で幼児～小学生も遊べる所。
		保育所に入所できずに空きが出るのを待っている方がいる話をよく聞くので安心して働けるように保育施設を増やして欲しいです。
仕事	81	親の仕事復帰の際子どもの預け先が決まらないということのないよう、保育所を増やす等対応してほしい。4月以外でも決まるようにしてほしい。
		病後児保育室があるのは知っていますが、定員制のため、預けたくても預けられず、仕事を休まざる得ません。もっと増設してほしいです。曜日に関しても、核家族+不規則な仕事をしている家庭など(月～金)のみ以外の受け入れも考えてほしいです。そのために利用料が多少割増になっても納得できます。認可のそういった預け先があると、とても助かります。
		時間に余裕がなければ、子どもと接する時間が少なくなり、コミュニケーション不足になる。かといって、仕事をしなければ生活ができないので、企業全体での残業なしへの取り組みをしてほしい。
		日、祝や時間外、年末年始などでも、安心して保育してもらえる場所が欲しい。土日休みの仕事であれば良いが、接客業などはそのような日がいそがしいのに、子どもを預ける所がなく苦労する。24時間、365日保育してもらえる環境を実現して欲しい。

(1) 共起ネットワーク

共起ネットワーク図からみられる皆さんの関心の高い単語を抽出し、自由意見としてまとめます。



(2) 教育・保育環境の充実についての自由意見

教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関する自由意見の中から、出現数が多い語彙を抽出し、分類しました。(抜粋した自由意見は、誤字と思われる箇所も原文のまま掲載しています。)

■抽出語件数

抽出語	環境	医療費	学校	施設	仕事
件数	53	49	44	40	30

■小学生の保護者の自由意見

抽出語	件数	自由意見（抜粋）
環境	53	親の就労の有無にかかわらず、放課後子ども達が集まれる環境があればいいなと思いました。
		学習環境の整備。(学力向上のための環境づくり)
		東芝メモリも含め、今後人口増加に対応する施策として、就労人口を増やすには保育環境の改善は最重要だと思う。これからは、高齢者福祉より子育て環境に重きを置く事が大事だと感じる。
		企業所内での保育所の増設、働きやすい環境になってほしいと思います。
		物理的な支援(金銭的、時間、預かり等)も必要かと思いますが、精神的な支えがあるといいですね。子どもをとりまく環境ももちろんですが、子育て中の親をとりまく環境が良くなることを望みます。(定時であがれる職場を目指したい！)
医療費	49	インフルエンザ予防接種の費用の負担がほしい。医療費負担の期間をもっと長くしてほしい。(中学生まで全額負担が望ましい。)
		医療費に対する支援が少ないので改善して欲しい。
		医療費が後から戻って来るのでは、本当にお金に困っている人は通院できない事もある。他市では、病院窓口での負担がないのでそのようにして欲しい。
		就学前の子育てばかり支援があるが、多子世帯への援助がない。たくさん子どもを産み、将来子どもが大きくなったら税収に差があるのに、1人世帯と同じ支援しかないのに不満を感じる。3人目の医療費免除や、多子世帯への充実した支援をお願いしたい。
		子ども医療費助成事業について、平成30年より高校生まで拡大したが、受給できる年齢を上げるよりも、小学生までは所得制限を設けず助成が受けられるようにしてほしい。
学校	44	学校の新設は必要ないが、登下校が長距離であり、不安である。スクールバス等の充実をしてほしい。学校設備の老朽化が著しいので、改善すべきである。小学校、中学校だけでなく、高校への通学も、公共の交通手段が不便すぎる。せめてコミュニティバス等で駅やバス停へ行けるようにするなど、改善が必要だと思う。
		各学校にも空き教室も増えているはずですが、そこを活用した保育が、放課後活動など、外部の手を利用したほうがよいのではないかと思います。

		放課後、安心して外あそびができるように学校の校庭を開放してほしい。
		息子が支援学級に在籍しております。支援員さん、サポートの先生等、学校により人数がたりていない気がします。どうしても手がかかってしまう分、大変なのは分かりますが、専門性のある職員を配置していただきたいですし、市内の支援学級や支援学校の先生方との会議等をしているとは思いますが、その話し合った事なども教えていただきたい時があります。
		今通ってる学校に関して言えば、雨もりもすごいので、せめて改修する費用を出してもらえよう検討して欲しいです。
施設	40	健康の面で、スポーツ活動を推進すべきですが、北上市には、スポーツ（野球）をできる施設が少なすぎます。さらに、数年後には、球場がもっと少なくなると聞き、とても残念でなりません。
		小、中からでも私立があり、学業、スポーツに力を入れられる施設がほしいと思います。今の子どもたちは、色んな勉強をしたりスポーツを小さい時からしているので、力を入れてもよいのではないのでしょうか？
		就労時間にバラつきがあったり、長時間勤務、交替勤務の親が安心して子どもを預けられる認可外ではない施設をつくってほしいです。
		病児保育、病後児保育施設の新設が必要ではないか。
		子育てに特化したカウンセラーのいる常設施設も希望します。
仕事	30	お仕事体験、留学支援等、将来を自分で考える為の体験や、もっと広い視野を持って、沢山のことにふれて、考えられるようになるきっかけや、チャンスを与えられる支援があると良いと思う。現在もあると思うが、あまり認知されていない。
		学童保育に預かっていただいていた時期があるが、行事はいらないと思います。PTA、子ども会もあり、働いて忙しいのに学童の行事にまで参加するのは大変でした。仕事の関係もありますが、必要な日や時間に支援を受けられなかったこともあるので改善していただけたらと思います。（日、祝とか延長時間など）
		保育園を増やすのではなく、企業が仕事を始める時間をフレックスにしてもおかしくない世の中にすれば良い。
		小学生になったとたんに、仕事との両立がむずかしくなりました。
		待機児童を減らす為の小規模保育園開設で、未満児はすぐに入園できるようになったので、仕事復帰もできたのですが、その後の転園や、3歳以上の預け先が難しいのが困ります。仕事をフルタイムでしていると、幼稚園ではなく保育園でないと大変ですが、3歳から入れる所は枠が少なくて遠い場所や送迎、時間的に難しい所しか残らなかったりします。

資料編

資料編

1 就学前児童の調査票

就学前児童の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査票

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、お子さんの保護者が記入してください。
(氏名・住所の記入の必要はありません。)
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○印をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある() 内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時～18時)で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返送封筒に入れて、2月1日(金)までに郵便ポストに投函してください。(返送封筒に切手は不要です。)

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。
北上市 子育て支援課 育児支援係 電話 0197-72-8260 (直通)

調査実施の趣旨とその目的

北上市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする第1期子ども・子育て支援事業計画を平成27年度に作成し、計画的に給付・事業を実施しています(第2期計画は2020年度から)。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

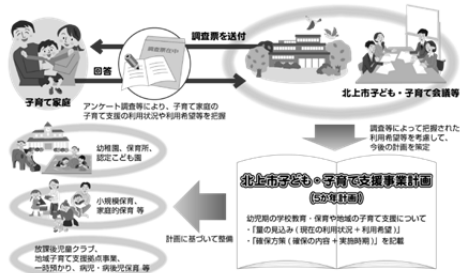
なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に応じて、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長過程の中では、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基盤とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達とともに、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められ、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、その環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たす上で、子育てでの負担を軽減することが可能となるよう、支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげる助けとなることで、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合い、親として成長するとともに、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、より充実した支援の実現を目指しています。

1

いただいた回答は北上市の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
- 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
- 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味

2

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 黒沢沢北地区 | 2. 黒沢沢東地区 | 3. 黒沢沢西地区 |
| 4. 立花地区 | 5. 新豊地区 | 6. 二子地区 |
| 7. 栗木地区 | 8. 黒岩地区 | 9. 口内地区 |
| 10. 稲穂地区 | 11. 相古地区 | 12. 鬼柳地区 |
| 13. 江釣子地区 | 14. 和興地区 | 15. 岩崎地区 |
| 16. 緑地地区 | | |

封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。 ※ (□の中に数字でご記入ください)

平成 年 月 日生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を□の中に数字でご記入ください。

※お子さんが2人以上の場合は、一番下のお子さんの生年月日をご記入ください。(□の中に数字でご記入ください)

きょうだい数 人 一番下のお子さんの生年月日 平成 年 月 日生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他() |
|----------|---------|---------|----------|-----------|

3

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。
※お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母	5. 幼稚園
6. 保育所	7. 認定こども園	8. その他（ ）		

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響を考えるとどう環境は何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 家庭	2. 地域	3. 幼稚園	4. 保育所
5. 認定こども園	6. その他（ ）		

問9 日頃、宛名のお子さんをもてもらええる親類・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 日常的に祖父母等の親類にみてもらえる	⇒ 問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の時には祖父母等の親類にみてもらえる	
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	
4. 緊急時もしくは用事の時には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5. いずれもない	⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親類にお子さんをもてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 祖父母等の親類の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	⇒ 問9-2へ
2. 祖父母等の親類の身体的負担が大きくなり心配である	
3. 祖父母等の親類の時間的制約や精神的な負担が大きくなり心配である	
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが苦しい	
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある	
6. その他（ ）	

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	⇒ (1)へ
2. 友人・知人の身体的負担が大きくなり心配である	
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きくなり心配である	
4. 自分たちの立場として、負担をかけていることが苦しい	
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある	
6. その他（ ）	

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（あてはまる番号1つに○）

1. いる／ある ⇒ 問10-1へ	2. いない／ない ⇒ 問11へ
-------------------	------------------

問10-1 問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 祖父母等の親類	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設（地域子育て支援センター等）・NPO
5. 保健所・保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 市の子育て関連担当窓口（健康増進課、療育センターなど）
11. その他	【例】ベビーシッター

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親（あてはまる番号1つに○） ※父子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (1)へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

※フルタイムとは、農業や漁業に従事される方や自営業等を含む。

(2) 父親（あてはまる番号1つに○）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (2)へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(1) -1 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」を、口の中に数字で記入ください。
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の場合は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日	1日当たり 時間程度
------------------------------	---------------------------------

(1) -2 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時間と帰宅時刻を、口の中に数字で記入ください。
※時間がか一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の場合は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 時 分	帰宅時間 時 分
--	--

(2) 父親（あてはまる番号1つに○） ※母子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない	⇒ (2)へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、産休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

※フルタイムとは、農業や漁業に従事される方や自営業等を含む。

(2) -1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」を、口の中に数字で記入ください。
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の場合は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日	1日当たり 時間程度
------------------------------	---------------------------------

(2) -2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時間と帰宅時刻を、口の中に数字で記入ください。
※時間がか一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の場合は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 時 分	帰宅時間 時 分
--	--

問13 問12の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は、問14へ

フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	⇒ 希望する就労形態
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労を続けることを希望	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい	

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	⇒ 希望する就労形態
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労を続けることを希望	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい	

問14 問12の(1)または(2)で「6. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は、問15へ
就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・数字それぞれ1つに○）
※該当する口の中には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	⇒ 希望する就労形態
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい	
3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい	
→希望する就労形態	

→希望する就労形態

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）
→1週当たり 日 1日当たり 時間程度

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	⇒ 希望する就労形態
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい	
3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい	
→希望する就労形態	

→希望する就労形態

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
② パートタイム・アルバイト等（①以外）
→1週当たり 日 1日当たり 時間程度

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 利用している ⇒ 問15-1へ 2. 利用していない ⇒ 問15-5へ

問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園 | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの) | 6. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 7. 認可外保育施設 | 8. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業) |
| 9. その他() | |

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
※1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口の中に数字でご記入ください。
※時間は、必ず(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。
※2つ以上回答された方は、若い番号の事業についてお答えください。

(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間程度 (時台～ 時台)

(2) 希望

1週当たり 日 1日当たり 時間程度 (時台～ 時台)

8

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 北上市内 2. 市外

問15-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方に就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方に病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他()

問15-5 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

※「8.」に○をつけた場合は、年齢を口の中に数字でご記入ください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間等の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

9

宛名のお子さんの地域の子育て支援拠点事業の利用状況についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。
(次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください)
※なお、その利用回数(頻度)を口の中に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)
1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度 ()
2. その他北上市で実施している類似の事業(具体名：
1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度
3. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。(あてはまる番号1つに○)
※なお、その利用回数(頻度)を口の中に数字でご記入ください。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかることがあります。

1. 利用していないが利用したい
1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度
2. すでに利用しているが利用回数を増やしたい
1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回 程度
3. 新たに利用したい、利用回数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
※①～⑦の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。
※なお、事業によっては、北上市で実施されていないものもあります。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
①母親(父親)学級、母親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦北上市発行の子育て支援情報(冊子、チラシなど)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

11

問16 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用料負担があります。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園 | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの) | 6. 家庭の保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) |
| 7. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) | 8. 自治体の認証・認定保育施設
(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) |
| 9. その他の認可外保育施設 | 10. 在宅訪問型保育
(ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 11. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業) | 12. その他 () |

※現在、北上市では実施していない事業も含まれています。

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 北上市内 2. 市外

問16-2 問16-1で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所」から「9. その他の認可外保育施設」にも○をつけた方にうかがいます。
特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。
(あてはまる番号1つに○)

1. はい 2. いいえ

10

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます。）
 （1）（2）それぞれについて、あてはまる番号上につけ○
 ※希望がある場合は、利用したい時間帯を口の中に数字でご記入ください。
 ※時間は、必ず（例）08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。
 ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。
 ※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親類・知人による場合は含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい
 3. 月に 1～2 回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい
 3. 月に 1～2 回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

問 20-1 問 20 の（1）もしくは（2）で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため
 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
 3. 親類の介護や手伝いが必要のため
 4. 息抜きのため
 5. その他（ ）

問 21 「幼稚園」を利用している方にうかがいます。⇒該当しない方は、問 22へ

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。（あてはまる番号上につけ○）
 ※希望がある場合は、利用したい時間帯を口の中に数字でご記入ください。
 （例）08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。
 ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかることがあります。

1. 利用する必要はない
 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 3. 休みの期間中、週に数回利用したい

⇒ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

問 21-1 問 21 で「3. 休みの期間中、週に数回利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 週に数回仕事が入るため
 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
 3. 親類の介護や手伝いが必要のため
 4. 息抜きのため
 5. その他（ ）

12

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。（平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ）

問 22 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると考えた保護者の方（問 15 で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。⇒ 利用されていない方は、問 23へ
 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号上につけ○）

1. あった ⇒ 問 22-1へ
 2. なかった ⇒ 問 23へ

問 22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業を利用できなかった場合に、この 1 年間にに行った対処方法はどれになりますか。（あてはまる番号すべてに○）
 ※それぞれ、およびその日数も口の中に数字でご記入ください。（平日程度の場合も 1 日と数えます）

1 年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	□□ 日
2. 母親が休んだ	□□ 日
3. 〈同居者を含む〉親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	□□ 日
5. 病院・病後児の保育室を利用した	□□ 日
6. ベビーシッターを利用した	□□ 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
9. その他（ ）	□□ 日

⇒ 問 22-5へ

※1 「病院・病後児の保育室」とは、児童が病中又は病後の回復期において集団保育が困難な期間、保育所・区療育園等にある専用スペース等において保育及び看護ケアを行う保育サービスです。
 ※2 「ファミリー・サポート・センター」には、「病院・緊急対応型事業」による利用が含まれます。

問 22-2 問 22-1 で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば病院・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。
 （あてはまる番号上につけ○）
 ※日数についても口の中に数字でご記入ください。
 ※なお、病院・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病院・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒ 問 22-3へ
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4へ

13

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病院・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のどの事業形態が望ましいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所である施設で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
 4. その他（ ）

⇒ 問 23へ

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思う理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 病院・病後児を他人に看ってもらうのは不安
 2. 地域の事業の質に不安がある
 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない
 4. 利用料がかかる・高い
 5. 利用料がわからない
 6. 親が仕事を休んで対応する
 7. その他（ ）

問 22-5 問 22-1 で「3. 〈同居者を含む〉親族・知人に子どもをみてもらった」から、9. その他のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看った日数を口の中に数字でご記入ください。」
 ※「3. ～9.」の日数のうち仕事を休んで看った日数を口の中に数字でご記入ください。

1. できれば仕事は休んで看たい ⇒ □□ 日 ⇒ 問 23へ
 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 22-6へ

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思う理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
 2. 自営業なので休めない
 3. 休暇日数が足りないため休めない
 4. その他（ ）

14

宛名のお子さんの不規則な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、平日の定期的な教育や病気のため以外に、私用・親の通院、不規則な就業等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる番号すべてに○）
 ※1 年間の利用日数（おおむね）も口の中に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）

1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□ 日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）	□□ 日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	□□ 日
4. 夜間看護等事業：トワイライトステイ（児童看護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□□ 日
5. ベビーシッター	□□ 日
6. その他（ ）	□□ 日
7. 利用していない	□□ 日

⇒ 問 24へ

問 23-1 問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 特に利用する必要がない
 2. 利用したい事業が地域にない
 3. 地域の事業の質に不安がある
 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない
 5. 利用料がかかる・高い
 6. 利用料がわからない
 7. 自分が事業の対象者になるかどうか
 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
 9. その他（ ）

問 24 宛名のお子さんについて、私用・親の通院、不規則な就業等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか。利用希望の有無・日数をお答えください。
 （あてはまる番号・日数すべてに○）
 ※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口の中に数字でご記入ください。
 ※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかることがあります。

1. 利用したい	計
① 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□□ 日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	□□ 日
③ 不規則な就業	□□ 日
④ その他（ ）	□□ 日

問 24-1へ

2. 利用する必要はない ⇒ 問 25へ

15

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点事業等）
3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 25 この 1 年間に、保護者の困事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを預りだけで家族以外に預けてもらなければならなかったことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）
※それぞれの泊数も口の中に数字でご記入ください。

1 年間の対応方法		泊数	
1. あった	①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	☐	☐ 泊
	② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	☐	☐ 泊
	③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ハベシッター等）を利用した	☐	☐ 泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	☐	☐ 泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	☐	☐ 泊
	⑥ その他（ ）	☐	☐ 泊
2. なかった	⇒ 問 26へ		

→問 25-1 問 26 で「1. あった ①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。 ⇒ 「1. ①」以外を選択した方は、問 26へ
その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号1つに○）

1. 非常に困難
2. どちらかというくらい困難
3. 特に困難ではない

16

宛名のお子さんから5歳以上の方に、放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問 30へ

問 26 宛名のお子さんが、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ該当する該当日数を口の中に数字でご記入ください。
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間口の中に数字でご記入ください。
(例) 午後6時 →18時のように24時間制で数字をご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学習支援などと呼ばれています。保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、指導員の下、学校等で子どもの生活の場を提供するもの。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかることがあります。

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 自宅 | 選 ☐ 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 選 ☐ 日くらい |
| 3. 塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 選 ☐ 日くらい |
| 4. 児童館 ^{※1} | 選 ☐ 日くらい |
| 5. 放課後子ども教室 ^{※2} | 選 ☐ 日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ（学習支援） | 選 ☐ 日くらい →下校時から ☐ 時台まで |
| 7. ファミリー・サポート・センター | 選 ☐ 日くらい |
| 8. その他（公民館、公園など） | 選 ☐ 日くらい |

※1 現在、北上市に児童館はありません。

※2 「放課後子ども教室」…地域のの方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動など各体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんが、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ該当する該当日数を口の中に数字でご記入ください。
※「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間口の中に数字でご記入ください。
(例) 午後6時 →18時のように24時間制で数字をご記入ください。

※現在お持ちのイメージでお答えください。

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 自宅 | 選 ☐ 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 選 ☐ 日くらい |
| 3. 塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 選 ☐ 日くらい |
| 4. 児童館 ^{※1} | 選 ☐ 日くらい |
| 5. 放課後子ども教室 | 選 ☐ 日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ（学習支援） | 選 ☐ 日くらい →下校時から ☐ 時台まで |
| 7. ファミリー・サポート・センター | 選 ☐ 日くらい |
| 8. その他（公民館、公園など） | 選 ☐ 日くらい |

※1 現在、北上市に児童館はありません。

17

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学習支援）」に○をつけた方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問 30へ
宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○

※利用したい時間帯を口の中に数字でご記入ください。
(例) 08時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

- | | | |
|-----------------------|---|--|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | ⇒ | 利用したい時間帯
☐ 時から ☐ 時台まで |
| 2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい | | |
| 3. 利用する必要はない | | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|-----------------------|---|--|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | ⇒ | 利用したい時間帯
☐ 時から ☐ 時台まで |
| 2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい | | |
| 3. 利用する必要はない | | |

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）
※利用したい時間帯を口の中に数字でご記入ください。
(例) 08時～18時のように24時間制でご記入ください。

- | | | |
|-----------------------|---|--|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | ⇒ | 利用したい時間帯
☐ 時から ☐ 時台まで |
| 2. 高学年（4～6年生）の間は利用したい | | |
| 3. 利用する必要はない | | |

18

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父兄のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。
(母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)
※取得していない方はその理由をご記入ください。

- | (1) 母親（いずれかに○） | (2) 父親（いずれかに○） |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 働いていなかった | 1. 働いていなかった |
| 2. 取得した（取得中である） | 2. 取得した（取得中である） |
| 3. 取得していない | 3. 取得していない |
| ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） | ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） |

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった
3. （産休後）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に復帰するのが難しかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所などに預けられなかった
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が家事に専念するため退職した
10. 子育てに育児休業制度がなかった（就業規則に定めなかった）
11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかった
15. その他 母親（ ）
- 父親（ ）

問 30-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み^{※1}、子どもが3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み^{※2}があります。この仕組みを知っていましたか。

(あてはまる番号1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

※1 保育所に於ける保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳になるまで

※2 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置も含まれる

19



問 30-2 問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問 31へ
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3へ
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9へ
3. 育児休業中に退職した ⇒ 問 31へ

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3へ
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9へ
3. 育児休業中に退職した ⇒ 問 31へ

問 30-3 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、4月の保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（どちらか1つに○）
※年度初めでの認可保育所入所を希望したが、復帰が1月～2月頃だったため、一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。
※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」と回答してください。

(1) 母親

1. 4月の入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

(2) 父親

1. 4月の入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問 30-4 育児休業から、「実際」に職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、「希望」としては、お勤め先の制度の期間内で、育児休業を何歳何ヶ月のときまで取得したかったですか。
(□の中に数字でご記入ください)

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 希望 □ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 希望 □ 歳 □ □ ヶ月

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休職を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取得したかったですか。(□の中に数字でご記入ください)

(1) 母親

□ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □ □ ヶ月

20

問 30-6 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

②父親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親

1. 希望する保育所に入らなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

②父親

1. 希望する保育所に入らなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

問 30-7 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問 30-9へ
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった。もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった。もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）

21

問 30-8 問 30-7 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問 31へ
短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にするに給与が減額される
4. 短時間勤務にするに保育所の入所申請の優先順位が下がった
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()

⇒ 問 31へ

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にするに給与が減額される
4. 短時間勤務にするに保育所の入所申請の優先順位が下がった
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()

⇒ 問 31へ

問 30-9 問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問 31へ
完命のお子さんが1歳になったとき必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
（あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

22

問 31 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。
（あてはまる番号1つに○）

満足度が低い				満足度が高い	
1. 不満	2. やや不満	3. ふつう	4. やや満足	5. 満足	

北上市が今後力を入れるべき施策、必要施策についてうかがいます。

問 32 すべての方にうかがいます。
「子育て家庭から笑い声があふれるまち」を目指す北上市として、今後どのようなことに力を入れるべき、または、どのようなことが必要であるとお考えですか。

(1) 多様な教育・保育を受けられる環境づくり （あてはまる番号すべてに○）

① 幼児期保育の視点から ※ () 内にも○をしてください。

1. 保育所新設（公立・私立） 2. 幼稚園新設（公立・私立）
3. 認定こども園新設（公立・私立） 4. 小規模な保育施設新設（公立・私立）
5. 認可外保育施設新設（安全対策・空調・防犯対策）
6. 保育施設の環境改善（安全対策・空調・防犯対策）
7. 延長保育、一時預かりの充実 8. 保育士等の人員確保
9. 保育士等の向上

② 就学期の保育の視点から ※ () 内にも○をしてください。

1. 小学校新設（公立・私立） 2. 中学校新設（公立・私立）
3. 学校施設の環境改善（安全対策・空調・防犯対策・通学手段） 4. 就学への経済的補助
5. 学童保育所新設（安全対策・空調・防犯対策）
6. 学童保育所の環境改善（安全対策・空調・防犯対策）

(2) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり （あてはまる番号すべてに○）

① 子育て支援サービスの視点から

1. 家事・育児代行サービス 2. 相談や助言を受けられる常設施設
3. 子育てサークル活動 4. 子育てサービスアプリ（スマホ・PC）
5. 子育て情報提供（ガイドブック・チラシ・広報紙） 6. 医療費負担の軽減

② 親となることへの不安解消の視点から

1. 妊産婦健診の充実 2. 産前産後講座
3. 妊産婦訪問指導 4. 育児ボックス支給

③ 乳幼児の健全な成長のための視点から

1. 乳幼児健診の充実 2. 育児講座
3. 発達相談を受けられる常設施設 4. 食育・料理教室

23

(3) 仕事と子育てを両立できる環境づくり (あてはまる番号すべてに○)

① 仕事と子育てのバランスの視点から

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 男女共同参画の啓発 | 2. 出産後の職場復帰支援 |
| 3. 父親母親講座 | 4. 子育てを応援する企業・事業者の表彰や紹介 |

② 子育てに理解のある環境づくりの視点から

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. オムツ替え・授乳スペースの確保 | 2. 短時間託児サービス |
| 3. 児童虐待防止対策 | 4. 児童や保護者の相談を受ける施設施設 |
| 5. 経済的困窮家庭への支援 | 6. こども食堂 |
| 7. 地域での子育て見守り | |

(4) 支援が必要な子どもと家庭を応援する環境づくり (あてはまる番号すべてに○)

① 障がいのある子への支援の視点から

- | | |
|---------------|--|
| 1. 相談を受ける専門機関 | 2. 保育園・幼稚園・小学校・中学校の環境改善
(人員体制・専門職員配置・バリアフリー化) |
| 3. 短期入所サービス | |

② ひとり親家庭への支援の視点から

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 相談を受ける専門機関 | 2. 生活安定の支援 |
|---------------|------------|

24

問 33 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒に入れて、2月1日(金)までに郵便ポストに投函してください
(返信封筒に切手は貼らないでください。)

25

2 小学生の調査票

小学生の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。
(氏名・住所の記入の必要はありません。)
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○印をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その欄にある() 内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要なくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みしたら、お手数ですが封筒の返信封筒に入れて、2月1日(金)までに郵便ポストに投函してください。(返信封筒に切手は不要です。)

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。
北上市 子育て支援課 育児支援係 電話 0197-72-8260(直通)

調査実施の趣旨とその目的

北上市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする第1期子ども・子育て支援事業計画を平成27年度に作成し、計画的に給付・事業を実施しています(第2期計画は2020年度から)。
本調査は、この計画で確保を図るべき小学生の放課後の過ごし方への支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの小学生の放課後の過ごし方への支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」把握を行うためのものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

また、この制度は、以下のような考え方に基いています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に応じて、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長過程の中では、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達とともに、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められ、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、その環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をともに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たす上で、子育ての権利を享受することが可能となるよう、支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげる助けとなることで、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合い、親として成長するとともに、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、より充実した支援の実現を目指しています。

1

いただいた回答は北上市の子育て支援の充実に生かされます



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 黒沢川北地区 | 2. 黒沢川東地区 | 3. 黒沢川西地区 |
| 4. 立花地区 | 5. 飯豊地区 | 6. 二子地区 |
| 7. 栗木地区 | 8. 黒岩地区 | 9. 口内地区 |
| 10. 稲穂地区 | 11. 柏古地区 | 12. 鬼塚地区 |
| 13. 江釣子地区 | 14. 和賀地区 | 15. 岩崎地区 |
| 16. 藤原地区 | | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。 ※(口の中に数字でご記入ください)

平成 年 月 日

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を口の中に数字でご記入ください。

※お子さんが2人以上の場合は、一番下のお子さんの生年月日をご記入ください。(口の中に数字でご記入ください)

きょうだい数 人 一番下のお子さん 平成 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方は何人ですか。宛名のお子さんからみた関係をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に任せているのは何人ですか。

※お子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父 5. その他()

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親 (あてはまる番号1つに○) ※父子家庭の場合は記入不要です。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

※フルタイムには、農業や漁業に従事される方や他店等を営む方も含まれます。

(1) - (1) (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」を、口の中に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間程度

2

3

(1) -2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、口の中に数字でご記入ください。
※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※就労は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

(2) 父親 (あてはまる番号1つに○) ※母子家庭の場合は記入不要です。

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育児・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児・介護休業中である
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労で就労しており、育児・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労で就労しているが、育児・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

⇒ (2)-1へ

⇒ 問9へ

※フルタイムには、産業や商業に従事される方やお店等を自営する方を含みます。

(2)-1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間をきむ)」を、口の中に数字でご記入ください。
※就労日数・就業時間、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日 1日当たり 時間程度

(2)-2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、口の中に数字でご記入ください。
※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

問9 問7の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

(1) 母親

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)での就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)での就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問9 問7の(1)または(2)で「5.」以前は就労していたが、現在は就労していない、または「6.」これまで就労したことがないに○をつけた方にうかがいます。

※就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字をそれぞれ1つに○)

※該当する口の中に数字をご記入ください。

(1) 母親

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- パートタイム・アルバイト等(①以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間程度

(2) 父親

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- パートタイム・アルバイト等(①以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間程度

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんが小学校1～3年生の方にうかがいます。

※小学校4～6年生の方は、問11へ
放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか、または過ごさせたい
と思いますか。(あてはまる番号すべてに○)
※それぞれ該当する週当たり日数を口の中に数字でご記入ください。
※「放課後児童クラブ」の場合は、利用を希望する時間も口の中に数字でご記入ください。
(例)午後6時～18時のように24時間制で数字をご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと併設しています。保護者が就労等により家庭にいない場合
などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一
定の利用料がかかることがあります。

- 自宅 日くらい
- 祖父母宅や友人・知人宅 日くらい
- 塾や習い事
(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 日くらい
- 放課後子ども教室 日くらい
- 放課後児童クラブ(学童保育) 日くらい →下校時から 時台まで
- ファミリー・サポート・センター 日くらい
- その他(公民館、公園など) 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の力や協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポー
ジ・文化芸術活動など各体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用
できます。

問11 すべての方(お子さんが小学校1～3年生の方も含む)にうかがいます。

小学校4～6年生の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしてい
ますか、または過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)
※それぞれ該当する週当たり日数を口の中に数字でご記入ください。
※「放課後児童クラブ」の場合は、利用を希望する時間も口の中に数字でご記入ください。
(例)午後6時～18時のように24時間制で数字をご記入ください。

※小学校1～3年生の方は、だいたい先のことになりますので、現在お持ちのイメージでお答えください。

- 自宅 日くらい
- 祖父母宅や友人・知人宅 日くらい
- 塾や習い事
(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 日くらい
- 児童館 日くらい
- 放課後子ども教室 日くらい
- 放課後児童クラブ(学童保育) 日くらい →下校時から 時台まで
- ファミリー・サポート・センター 日くらい
- その他(公民館、公園など) 日くらい

※1 現在、北上市に児童館はありません。

問12 問10または問11で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○)
※利用したい時間帯を口の中に数字でご記入ください。
(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

- 低学年(1～3年生)の間は利用したい
- 高学年(4～6年生)になっても利用したい
- 利用する必要はない

→利用したい時間帯
 時台から 時台まで

(2) 日曜・祝日

- 低学年(1～3年生)の間は利用したい
- 高学年(4～6年生)になっても利用したい
- 利用する必要はない

→利用したい時間帯
 時台から 時台まで

問13 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの
利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※事業の利用には一定の利用料がかかることがあります。

※利用したい時間帯を口の中に数字でご記入ください。

(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

- 低学年(1～3年生)の間は利用したい
- 高学年(4～6年生)になっても利用したい
- 利用する必要はない

→利用したい時間帯
 時台から 時台まで

問14 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い ← 満足度が高い

1. 不満 2. やや不満 3. ぶつう 4. やや満足 5. 満足

北上市が今後力を入れるべき施策、必要な施策についてうかがいます。

問15 すべての方にうかがいます。

「子育て家庭から真実の声があふれるまち」を目指す北上市として、今後どのようなことに力を入れ
るべき、または、どのようなことが必要であるとお考えですか。

(1) 多様な教育・保育を受けられる環境づくり (あてはまる番号すべてに○)

① 幼児期保育の視点から ※((1)内にも○をしてください。)

- 保育所新設(公立・私立)
- 幼稚園新設(公立・私立)
- 認定こども園新設(公立・私立)
- 小規模な保育施設新設(公立・私立)
- 認可外保育施設新設
- 保育施設の環境改善
(安全対策・空調・防犯対策)
- 延長保育、一時預かりの充実
- 保育士等の人員確保
- 保育士等の向上



② 就学期の保育の観点から ※（ ）内にも○をしてください。

1. 小学校新設（公立・私立）	2. 中学校新設（公立・私立）
3. 学校施設の環境改善 （安全対策・空調・防犯対策・通学手段）	4. 就学への経済的補助
5. 学童保育所新設	6. 学童保育所の環境改善 （安全対策・空調・防犯対策）

（2）安心して子どもを産み育てられる環境づくり （あてはまる番号すべてに○）

① 子育て支援サービスの観点から

1. 家事・育児代行サービス	2. 相談や助言を受けられる常設施設
3. 子育てサークル活動	4. 子育てサービスアプリ（スマホ・PC）
5. 子育て情報提供 （ガイドブック・チラシ・広報紙）	6. 医療費負担の軽減

② 働くことへの不安解消の観点から

1. 妊産婦健診の充実	2. 産前産後講座
3. 妊産婦訪問指導	4. 育児ボックス支給

③ 乳幼児の健全な成長のための観点から

1. 乳幼児健診の充実	2. 育児講座
3. 発達相談を受けられる常設施設	4. 食育・料理教室

（3）仕事と子育てを両立できる環境づくり （あてはまる番号すべてに○）

① 仕事と子育てのバランスの観点から

1. 男女共同参画の啓発	2. 出産後の職場復帰支援
3. 父親母親講座	4. 子育てを応援する企業・事業者の表彰や紹介

② 子育てに理解のある環境づくりの観点から

1. オムツ替え・授乳スペースの確保	2. 短時間託児サービス
3. 児童虐待防止対策	4. 児童や保護者の相談を受けられる常設施設
5. 経済的困難家庭への支援	6. こども食堂
7. 地域での子育て見守り	

（4）支援が必要な子どもと家庭を応援する環境づくり （あてはまる番号すべてに○）

① 障がいのある子への支援の観点から

1. 相談を受ける専門機関	2. 保育園・幼稚園・小学校・中学校の環境改善 （人員体制・専門職員配置・バリアフリー化）
3. 短期入所サービス	

② ひとり親家庭への支援の観点から

1. 相談を受ける専門機関	2. 生活安定の支援
---------------	------------

8

問 16 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒に入れて、2月1日（金）までに郵便ポストに投函してください。
（返信封筒に切手は貼らないでください。）

9

北上市
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査結果報告書

発行日 平成 31（2019）年 3 月

発行元 北上市 教育委員会 教育部 子育て支援課

住 所 〒024-8501 岩手県北上市芳町 1 番 1 号

T E L 0197-72-8260

F A X 0197-65-3834

U R L <http://www.city.kitakami.iwate.jp/>

